

政策調整会議の概要

開催日：H16.12.9

◎項目

- 1 働きかけに関する意見集約について【総務部】
- 2 その他(三位一体改革について)
- 3 副知事より

◎内容

1 働きかけに関する意見集約について【総務部】

意見集約結果の概要について説明した後、意見交換を実施した。

〔説明の概要〕

- ・ 10月14日付で「職務に関する働きかけについての取扱要領」に関する意見を各部局に依頼し、そのとりまとめをした。各部局から報告された主な意見としては以下のようなものがあった。
 - ▶ 働きかけがあると所属長が判断したものについては適正に報告されている。
 - ▶ 15年度より件数が減ったのは、取り組みによる抑止力が働いたことと、15年度が本来の目的以上に過剰反応していたことによるのではないか。
 - ▶ 議員及び市町村長と接する場合は、現行の取扱要領ではほとんどを公開対象とせざるを得ないが、対象をさらに限定するべきではないか。
 - ▶ 所属長が、要領の手続きにより取扱うことが適当と認める場合の判断手続き(基準)が明確でない。
 - ▶ 職員への定期的な周知が必要である。
 - ▶ 所属長等幹部職員に対して研修等で周知を行い全庁で統一的な取扱いができるようにすることが必要である。
- ・ 対応策としては、研修等を通じて所属長等への周知徹底を図り、各企画担当課あてに毎月提出依頼のメールを流し、報告のあった都度政策調整会議に諮り、確認をとったうえで県民室で資料公開する。

〔主な意見〕

- ・ 公表する際、働きかけをめぐるやり取りそのものはそのままいいが、これを見た人が理解しやすいように参考資料として過去の経緯の補足説明が必要なものもあるのではないか。
- ・ 公表は良い提言も含めて公表するというところで始まったものだ。
- ・ 株式会社名は条例上は開示になると思うが、この資料で非開示としているのはなぜか。「株」だけでも公表できるのでは。
株式会社の関係者が直接に発言しているのではなく、話の中にこの会社名がでてきただけなので、非開示としている。
- ・ 議員の名前が、議員本人が全く知らないうちに公表されるということがないよう、事前に話をしてほしい。
- ・ 要領の作成についてもっと詳しくしてほしいという意見もあるようだが。
県民室で公表している資料のコピーを各主管課に渡すので、それを参考にして判断してほしい。
- ・ マニュアルの作成についてはどうか。
個別具体的な案件を政策調整会議で議論しながら取り組んでいくしかない。今までは3ヶ月に一度報告することになっていたが、これからは案件があるときに速やかに報告するようにしたい。
- ・ ホームページには載ってないのか。
件名と件数しか載っていない。
- ・ 庁議で議論することはないのか。
もともと働きかけの取扱いについては政策調整会議で議論するという事になっている。しかし、必要に応じて庁議にかけることもありうる。

2 その他(三位一体改革について)

- ・ 三位一体の改革の中身について説明をしていただきたい。各部局で補助金削減について各省庁から情報を収集しろと言われても、各省庁は何も言わないのでできない。

総務部も企画振興部も情報収集できるよう動いているが、各部局も各省庁からの情報収集については努力して欲しい。

- ・ 何千億円も補助金をカットされて県は黙っているのか。補助金削減について県として意見を国に言うべきではないか。

それはずいぶんやっている。市町村もずいぶん努力して活動している。

以前は補助金に関して県が国に意見を言う機会がなかったが、今回は国と地方が協議をする場ができてきている。

要するに、補助金をカットされても地方交付税を確保して、地方が安定的な財政運営ができるようにということだ。もし確保できない場合は、内閣への不信任決議もしていこうという話も出てきている。

財政運営ができないような改革が行われた場合は、地方6団体は倒閣運動もやるということを決意して、政府との協議に臨んでいく。

- ・ 自分の部署の補助金がかットされた時にどう対応していいかわからない。今どうなっているのか。

今各省庁と財務省が折衝をしていると思う。

本日知事が東京で総務省・財務省のトップ等と会い要請等をしている。知事は12月14日の全国知事会にも最後まで出席してこの課題に取り組む予定であり、12月15日の議会質問日程の変更を議会に申し入れている。

3 副知事より

この度、私は12月10日付けをもちまして、副知事の職を辞任させていただくことになりました。任期途中の退任でありまして、選任をいただきました知事、そして私を支えていただきました皆様方には本当に申し訳なく、心からお詫びを申し上げたいと思います。この3年間、知事の補佐役として、全力を傾注して取り組んで参ったところではございますけれども、何分にも力不足のため、知事をはじめ皆様方には何かと御迷惑をおかけいたしました。にもかかわらず、政策調整会議の皆様方には温かい心からの励ましと御協力を賜りましたこと、私にとりまして生涯忘れることではありません。心から厚く御礼を申し上げたいと思います。

今、県政はかつて経験したことのない未曾有の厳しい状況の中にございますが、どうか知事を中心にされまして一致団結をして、この難局を乗り切っていただきたいというように思います。皆様方どうかお一人お一人が健康には十分留意をされまして、一層の御活躍、そして御多幸を念じながら、退任の御挨拶にかえさせていただきます。たくさんのお心をいただきました。本当にありがとうございました。